

## 追記

この研究紀要第2号は、令和3年(2021)3月末日に当館のホームページで公開しましたが、その後に間違いが指摘されました。研究報告の「明治の初めに木曾谷模型は何故つくられたのか」43ページ23~30行の考察について、[……嘉左衛門が主人をしている岩屋旅館の存在は大きなヒントになる。……]と記述しましたが、岩屋が旅館として営業を始めたのは、嘉左衛門の時代より後であったと子孫の方のお話しがございました。

筆者の思い込みで正確さを欠きましたことを深くお詫びいたします。これにつきましては、再調査して次号に改訂した文章を掲載いたします。

(2021.4.19 山口 登 記)